

令和7年度版『伝え合う言葉 中学国語1』年間指導計画・評価計画（案）

〔第1学年〕目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

凡例

ま	教科書記載のまなびリンク（二次元コード）の活用が有効なところ
教	P00 教科書の関連ページを参照
ICT	ICTの活用が有効なところ

2024年10月

指導 時期	単 元	教材名	配当時数 ()内は含ま れる領域の 時数	教材目標	学習活動の流れ *は学習活動の留意点	学習指導要領との対応		評価規準(例)
						知識及び 技能	思考力、判断力、 表現力等	
4月	一	聞くということ	1	● 言葉をとおして自分と相手を理解する。	1 ◎ 文章を読んで、 <u>これから の中学校生活で伝えたいこ と、聞きたいことをまとめ、 共有、交流する。</u>	(1)ウ	C(1)イ◎ C(1)オ C(2)イ	【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
		【話す聞く】 お気に入りの一品を紹介する	話聞2	● 伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	(お気に入りの一品を決め、実物や写真などを用意させておく。) 1 ◎ <u>一品の特徴や理由をメモし、メモをもとに紹介文を書いた後、紹介の練習を各自で行う。</u> 2 第1時の練習を踏まえて思いを効果的に伝えるための工夫を考え、ペアやグループで紹介し合う。 *聞き手は話し手に1つ以上の質問をするように伝える。	(1)ア	A(1)ア◎ A(2)ア	【知識・技能】 音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中からお気に入りの一品について話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。

		桜蝶	4	● 行動や心情を表す言葉を文脈に注意して読む。 ● 文学作品の構成や展開、人物の関係を描写から捉える。	1 「学びナビ」を読み、「視点」について理解する。『桜蝶』A・Bを読み感想を伝え合う。 *「まなびリンク」を活用して作品と作者について理解を深める。 2 ◎ 『桜蝶』A・Bを読み、「できごと」「場面や情景」を整理する。 3 ◎ 『桜蝶』A・Bを読み、「登場人物の行動や心情」「その他の特徴」を整理する。 4 『桜蝶』A・Bを読み、「視点」の違いによる印象の違いについて話し合う。 *異なる作品（例えば小学校教材『きつねの窓』）を用いて、「視点」を変えたリライトなどをしてよい。	ま	(1)ウ	C(1)イ◎ C(1)ウ C(2)イ	【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写（特に二つの文章の描かれ方の違い）をもとに捉えている。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く二つの文章を読み比べながら、場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
		文法の小窓 1 言葉の単位 文法（解説） 1 言葉の単位	2	● 文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	1 ◎ P30『文法の小窓 1』を読み、内容を確認したあと、P278～280『言葉の単位』を読み、内容を整理する。 2 前時の学習内容を確認したのち、P280「やってみよう」に取り組む。また P280「インターネットの文章」について理解する。		(1)エ◎		【知識・技能】 ◎ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しをもってその役割を考えようとしている。
5月	二	自分の脳を知っていますか	5	● 意見と根拠などの関係について理解する。 ● 文章の中心的部分や付加的部分、事実と意見との関係を捉え、要旨を把握する。	1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。本文を通読し、意見・感想を伝え合う。 2 クッキーを使った二つの実験の説明によって、筆者が伝えようとする内容を捉える。 *「まなびリンク」を活用して内容理解を深める。 3 ◎ 「脳の奇妙な癖」について、「おとり効果」の有効な点と問題点とを整理しながら、筆者の考えをまとめる。	ま ま	(2)ア	C(1)ア◎ C(1)ウ C(2)ア	【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに筆者の考えを捉え、要旨を把握している。C(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の要旨を把握し、学習課題にそって筆者の考えをまとめようとしている。

					4 文章で繰り返し用いられている表現が読者に与える印象について話し合う。 5 前時に文章にまとめたものを友達どうしで読み合い、相互評価する。				
		【書く】 資料をもとに 紹介文を書く	書 6	● 指示する語句と接続する語句との役割について理解を深める。 ● 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。	1 「学びナビ」を読み、内容を理解する。 *「まなびリンク」を活用しながら、紹介文に書きたい事柄を定める。 2 本やインターネットで情報収集をする。 3 ◎ <u>書きたい内容を短冊に書いて構成を考える。</u> *ペアやグループで構成について指摘し合う。 4 構成をもとに文章を書く。 5 段落の構成に注意して推敲する。 *第 2 時同様にペアやグループで構成について指摘し合う。 6 書いたものを交流し、資料の読み取りや構成の工夫について確認し合う。	ま ICT	(1)エ	B(1)イ◎ B(2)イ	【知識・技能】 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ 【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように複数の資料を比較するとともに、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。B(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで情報の整理の仕方について理解し、学習課題にそって共通点や相違点を根拠にしながら考えたことを書こうとしている。
		漢字の広場 1 漢字の部首	1	● 漢字の部首についての理解を深める。	1 ◎ <u>「部首」について理解する。「練習」によって理解の確認を行う。</u>		(1)イ◎		【知識・技能】 ◎ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、これまでの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
6 月		言葉の小窓 1 日本語の音声 言葉（解説）1 日本語の音声	2	● 日本語の音の特徴を理解する。	1 ◎ <u>P50『言葉の小窓 1』を読み、内容を確認したあと、P266～267『日本語の音声』を読み、内容を整理する。</u> 2 前時の学習内容を確認したあと、P268「やってみよう」「考えてみよう」に取り組む。また P269「イントネーションと伝え方の工夫」について理解する。		(1)ア◎		【知識・技能】 ◎ 音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。

		【話す聞く】 構成を考えて話す	話聞 4	● 中心となる内容とそれを説明する内容の関係を踏まえながらスピーチの構成を考える。 ● 相手の反応を見て、それに応じた表現の仕方を工夫する。	1 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。 * 「まなびリンク」を活用しながら、伝えたい内容を定め、エピソードに関する事柄を集める。 2 ◎ <u>伝えたい内容について、話す順番や表現の仕方などを検討する。</u> 3 グループでスピーチを行う。 * 聞き手の反応を見ながら話し方の工夫をする。また聞き手による評価も行えるとよい。 4 互いのスピーチについてよかった点や改善点を話し合い、よりよい話し方、聞き方について学び合う。 * 話し合いのあと、改めてスピーチを行えるとよい。	ま	(2)イ	A(1)イ◎ A(1)ウ A(2)ア	【知識・技能】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 (2)イ 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 ◎ 粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。
	三	ベンチ	4 (書 1)	● 本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。	1 本文を読み、「ベンチ」の表す状況を捉えて、自分なりの課題をもつ。 2 「みちしるべ」の説明にそって、情報の集め方を理解する。 3・4 ◎ <u>本の帯やポップ、本に構造などについて理解を深める。効果的な表現を考えながら、作品の帯やポップを作成する。</u> * 「まなびリンク」を活用する。	ま ま ま ま ICT	(3)オ◎	C(1)イ◎ C(1)ウ C(2)ウ B(1)ア B(2)ア	【知識・技能】 ◎ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
7月		全ては編集されている／写真で「事実」を表現する	2 (書 1)	● 文章や映像などに表されている情報と情報の関係を捉える。 ● 写真を見るとき、写真の特徴を生かした多様な活	1 ◎ <u>『全ては編集されている』を読み、内容を理解する。『写真で「事実」を表現する』を読み、P69の課題に取り組む。</u> 2 前時の学習内容を確認したあと、P70・71の課題に取り組む。		(2)ア◎	C(1)ウ◎ C(2)ウ B(1)ア B(2)ウ	【知識・技能】 ◎ 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。C(1)ウ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題

				用の仕方について考える。					材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。
		漢字の広場 2 画数と活字の字体	1	● 画数と活字の字体についての理解を深める。	1 ◎ 「画数と活字の字体」について理解する。「練習」によって理解の確認を行う。		(1)イ◎		【知識・技能】◎ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
		【書く】 材料を整理して案内文を書く	書 5	● 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解し、それらを使う。 ● 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を集めて整理し、伝えたいことを明確にする。	1 ◎ 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。誰に何を案内するのかを考え、必要な情報を集めて整理する。 2 案内文の構成を考える。 3 相手や目的を意識しながら案内文を書く。 4 推敲して清書する。 5 相手の立場になって案内文を読み合う。		(2)イ	B(1)ア◎ B(2)イ	【知識・技能】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。
9月	四	持続可能な未来を創るために—人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう	3（話聞 1 書 1）	● 持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。	1 SDGsの紹介、SDGsに関する資料と「まなびリンク」を参考に、「始めの『問い』」を考える。 2 「『エシカル』に生きよう」を読み、「次の『問い』」について整理する。 3 ◎ 全体を再読し、「最後の『問い』」について話し合い、自分なりの考えを書く。	ま ま ま ま ま	(2)ア (2)イ	A(1)ア◎ A(1)オ A(2)イ B(1)ア◎ B(1)ウ B(2)ア C(1)オ◎ C(2)アウ	【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【知識・技能】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。C(1)オ 【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア

									【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、これまでの学習を生かして本や資料をもとに考えを深めようとしている。
		森には魔法つかいがある	5 (書 1)	- 意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。 - 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考える。	1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。重要語句を抜き出し意味を確認する。 * 「まなびリンク」を活用して作品と筆者について理解を深める。 2 文章の論理の展開を捉える。 3 文章全体の構成を確認し、筆者がたどった問題解決の道筋を整理する。 4 ◎ 「森には魔法使いがいる」などの比喩表現を整理し、これらの表現を用いて説明する筆者の意図について考え文章にまとめる。 5 前時の文章を読み合い、感想を述べ合い、自分の考えを支える根拠をさらに明確にする。	ま ま	(2)ア	C(1)ア C(1)エ◎ C(1)オ C(2)ア B(1)オ B(2)ア	【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果（特に論理の構成）について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。
		文法の小窓 2 文法（解説） 2 文の成分	3	主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	1 P102『文法の小窓 2』を読み、内容を確認したあと、P281『文の成分』を読み、「やってみよう」に取り組む。 2・3 ◎ 前時の学習内容を確認したのち、P282～285 を読み、「やってみよう」「考えてみよう」に取り組む。		内容の取扱い 2(1)ア (2年(1)オ◎)		【知識・技能】 ◎ 文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。2年(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。
10月		【書く】 根拠を明確にして意見文を書く	書 5	- 意見と根拠など、情報と情報との関係を理解する。 - 根拠を明確にし、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	1 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。伝えたいテーマを決めて、資料を集める。 2 四段落構成を基本として文章の構成を考える。 3 ◎ <u>根拠を明確にして文章を書く。</u> * ICT 機器を用いて、「まなびリンク」の文章も活用する。	ま ICT	(2)ア	B(1)ウ◎ B(2)ア	【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。

				4 言葉の使い方や根拠の示し方に注意して推敲する。 5 書いた文章を友達どうして読み合い、根拠を確認し合う。				
	広告の情報を考える	2 (書1)	● 広告を作る要素を整理し、広告を見る観点を知る。 ● 広告の特徴について理解し、広告を作る。	1 『広告の情報を考える』全体を読み、感想を伝え合う。 P108 の課題に取り組む。 * 「まなびリンク」を活用する。 2 ◎ <u>前時の学習内容を確認したあと、P109 の課題に取り組む。</u>	ま	(2)イ◎	C(1)ウ◎ C(2)ウ B(1)ア B(2)イ	【知識・技能】◎ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 (2)イ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。C(1)ウ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。
五	昔話と古典	1	● 古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。	1 ◎ <u>古典の仮名遣いに注意して川柳を読む。昔話を讀んだり聞いたたりした経験を話し合い、古典の世界に興味・関心をもつ。</u> * 「まなびリンク」を活用して古典の仮名遣いへの理解を深める。	ま	(3)ア (3)イ◎	C(1)イ◎ C(2)イ	【知識・技能】◎ 古典には様々な種類の作品があることを知っている。(3)イ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 昔話に関する知識を手がかりに本文をすすんで読み、新しく知ったことについて話し合いの場で発言しようとしている。
	物語の始まり	4	● 仮名遣いに注意しながら音読し、古典に親しむ。 ● 登場人物の関係や心情に注意して、内容を理解する。	1 『竹取物語』について知っていることを発表したり、前半部を通読したり音読したりする。 * 「まなびリンク」を活用して古典の世界への興味関心を高める。 2 後半部を通読したり音読したり、歴史的仮名遣いに注意しながら原文をノートに書き写したりする。 3 ◎ <u>『竹取物語』について調べ、絵本などの「かぐや姫」と『竹取物語』の異なる点を</u>	ま ま ま ま 教 P302	(3)ア◎	C(1)イ◎ C(2)イ	【知識・技能】◎ 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。

					<u>文章にまとめたり、話し合ったりして、そのおもしろさを考える。</u> 4 現代語とは違う意味で用いられている語や、現代語ではあまり用いられない語、現代語と同じ意味の語をあげ、古典の言葉と現代語のつながりについて考える。 *「まなびリンク」を活用して古典の仮名遣いへの理解を再確認する。				
		故事成語	3	- 漢文訓読の仕方を理解したり、音読したりして、漢文に慣れる。 - いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。	1 ◎ <u>「矛盾」の盾と矛を売る人の話でつじつまの合わない点について考え、発表する。</u>また、「助長」の意味を国語辞典と漢和辞典とでそれぞれ調べ、現在どのような意味で使われているか確認する。 *「まなびリンク」を活用して古典の仮名遣いへの理解を深めるとともに、中国の古典への興味関心を高める。 2 「矛盾」と「助長」の書き下し文をノートに書き写したり音読したりして漢文訓読のきまりを理解する。また、漢文の読み方をもとに、いろいろな二字熟語や四字熟語の意味を説明する。 3 いろいろな故事成語の意味や由来を調べ、それを使った短い文を書き、発表する。	ま ま	(3)ア◎	C(1)イ◎ C(2)イ	【知識・技能】◎ 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
1 1 月		蜘蛛の糸	2	わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	1 作品を読み、物語のあらすじを捉え、感想を伝え合う。 2 ◎ <u>作品解説、作者についての文章を読み、近代の小説や作家について理解する。</u> *「まなびリンク」やインターネット等を活用して、芥川龍之介に限らず日本近代文学への関心を高める。	ま	(3)オ◎	C(1)イ◎ C(1)エ C(2)ウ	【知識・技能】◎ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝えようとしている。

六	河童と蛙	2	● 比喩や反復などの表現の技法を理解する。 ● 詩の構成や展開、表現の効果について考える。	1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。詩を読み感じたことを発表し合う。 *「まなびリンク」を活用して言葉と表現への理解を深める。 2 ◎ <u>オノマトペの効果について理解し、詩の登場人物の役割を捉え、作品の世界を生かすように朗読する。</u>	ま	(1)オ	C(1)エ◎ C(2)イ	【知識・技能】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。
	オツベルと象	7	● 語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ● 場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈する。	1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。本文を通読し、語り手や登場人物の関係を整理する。 *「まなびリンク」を活用して難解語への理解を深める。 2 全文を音読し、擬声語・擬態語の使われ方の特徴とその効果を考える。 3 「オツベル」と「白象」はどのような人物として描かれているか、会話部分に着目しながらまとめる。 4 ◎ <u>「第一日曜」「第二日曜」のできごとと、「第五日曜」のできごとから、共通点と相違点を比べる。</u> 5 「ああ、ありがとう。ほんとに僕は助かったよ。」(P168)と、白象が「寂しく笑って」言った理由について発表し合い、文章にまとめる。 6 「第一日曜」「第二日曜」と「第五日曜」では、牛飼いの語り方が変化していることを踏まえ、牛飼いがどのような気もちでこの物語を語ったのかを考える。 7 『オツベルと象』についてグループごとに感想を述べ合い、交流したうえで、発表する。	ま	(1)ウ	C(1)ウ◎ C(1)エ C(2)イ	【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深めることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。C(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えるとともに、作品を読んで考えたことを伝え合おうとしている。

		【書く】 随筆を書く	書 4	身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	1 身近に起こったこと、経験したことなどを思い浮かべ、そこから新しく発見したことやそのことの自分にとっての意味を考え、随筆に書く内容を決める。 2 読み手をひきつけるような文章の展開を考える。P171を読み、随筆にふさわしい表現があることを理解したうえで、最も適切な言い回しを意識しながら随筆を書く。 3 ◎ <u>季語辞典、類語辞典などを用いて、よりふさわしい言い回しがないかを考えながら推敲する。</u> 4 書いた随筆を友達どうして読み合い、工夫した言い回しを確認し合う。	ま ま	(1)ウ	B(1)エ◎ B(2)ウ	【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
1 2 月		言葉の小窓 2 日本語の文字 言葉（解説） 2 日本語の文字	1	日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	1 ◎ <u>P172『言葉の小窓 2』を読み、内容を確認したあと、P270～273『日本語の文字』を読み、内容を整理する。</u> * 「まなびリンク」を活用して日本語の文字への関心を高める。	ま 教 P132	内容の取扱い 2(1)ア (小 5・6(3)ウ) (1)イ◎		【知識・技能】 ◎ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
	七	子どもの権利	4（話聞 1）	- 専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 - 反論を用いた文章の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。	1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。本文を通読し、意見・感想を伝え合う。 * 「まなびリンク」を活用して「子どもの権利条約」についての理解を深める。 2 「子どもの権利条約」の内容と本文を照らし合わせ、世界における考え方の変化についてまとめる。 3 ◎ <u>文章中の「反論」の部分をおさえながら、文章の構成を確認して論理を捉え、筆者の説明や主張を整理する。</u>	ま ま ま	(1)ウ	C(1)エ◎ C(1)オ C(2)ア A(1)イ A(2)ア	【知識・技能】 事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。A(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、学習課

					4 筆者の主張を踏まえ、子どもの権利について考えたことを話し合う。				題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
		【話す聞く】 調べた内容を聞く	話聞 3	● 得た情報を整理し、相手が伝える内容を予想しながら聞く。 ● 相手の話と自分の考えとを比較しながら聞き、その共通点と相違点を踏まえて考えをまとめる。	1 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。話すテーマについて本やインターネットを用いて調べる。 * いくつかのテーマを設定して、生徒に選ばせてもよい。 2 調べた内容をもとに、スピーチの内容・構成を検討する。 3 ◎ <u>スピーチを行う。</u> * 自分のスピーチとの共通点と相違点をメモしながら相手のスピーチを聞く。		(2)イ	A(1)エ◎ A(2)ア	【知識・技能】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 (2)イ 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 A(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。
		漢字の広場 3 漢字の音と訓	1	● 漢字の音と訓についての理解を深める。	1 ◎ <u>「漢字の音と訓」について理解する。「練習」によって理解の確認を行う。</u>		(1)イ◎		【知識・技能】 ◎ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
1 月	八	言葉がつなぐ世界遺産／地域から世界へ—ものづくりで未来を変える—	5	● 事実と意見など、情報と情報との関係について理解する。 ● 事実と意見の関係などについて注意して読み、筆者の考えを捉える。	1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。問いに着目しながら本文を通読し、意見・感想を伝え合う。 * 「まなびリンク」を活用して難解語への理解を深める。 2 「修復記録の蓄積」と「世代を超えた技術の伝承」に対して、「言葉」の使われ方、果たす役割についてまとめる。 3 論理の展開を捉え、筆者の説明や主張を整理する。 4 題名にこめられた筆者の考えについてまとめる。 5 ◎ <u>文章をもとに、「日本の文化に対する世界からの評価」「伝統的な技術の継承や発展」について考えたことを</u>	ま	(2)ア	C(1)ア C(1)オ◎ C(2)ア	【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。C(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。

					話し合う。 *『地域から世界へ』の文章も参考にしながら日本の伝統文化について考えるように促す。				
		【書く】 報告文を整える	書 4	- 接続する語句の役割を理解し、使う。 - 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。	1 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。伝えたいテーマを決めて、テーマに関するデータを集める。 2 集めた調査結果を読み取り、書く順序を考える。 3 図表から読み取れることなどを中心に報告文を書く。 *「まなびリンク」を活用して報告文を整える。 4 ◎ <u>推敲して完成させる。完成した報告文を友達どうして読み合う。</u>	ま ICT	(1)オ	B(1)エ◎ B(2)ア	【知識・技能】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
2 月		文法の小窓 3 単語のいろいろ 文法（解説） 3 単語のいろいろ	3	自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。	1 P228『文法の小窓 3』を読み、内容を確認したあと、P286『単語のいろいろ』の「自立語と付属語」を読み、「考えてみよう」に取り組む。 2 ◎ <u>P287・288「活用のある単語と活用のない単語」「活用のある自立語」を読み、「考えてみよう」に取り組む。</u> 3 P289「活用のある付属語」を読み、内容を理解する。「品詞分類表」によって品詞の全体を把握する。	ま	(1)エ◎		【知識・技能】 ◎ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。
		【話す聞く】 発言を結びつけて話し合う	話聞 4	- 話し合う目的や、どのような順序で話し合うかを確認する。 - 互いの意見を結びつけて整理しながら話し合い、自分の感想や考えをまとめる。	1 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。話すテーマについて自分の考えの中心や根拠となる事例を調べる。 2 ◎ <u>話し合いの進め方について検討する。</u> *グループで話し合いの内容や進め方を考える。教科書や「まなびリンク」の例を参考にする。	ま	(2)ア	A(1)オ◎ A(2)イ	【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。A(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。

					3 グループで話し合いを行う。 4 話し合いを振り返り、グループで相互評価を行う。				
		漫画で「物語」を表現する	2	- 漫画を形づくる要素を整理し、表現の特徴について理解する。 - 漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。	1 『漫画で「物語」を表現する』全体を読み、感想を伝え合う。P234 の課題に取り組む。 *「まなびリンク」を活用して取り組む。 2 ◎ <u>前時の学習内容を確認したのち、P235 の課題に取り組む。</u>	ま	(2)イ	C(1)ウ◎ C(2)ウ	【知識・技能】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 (2)イ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。C(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。
		漢字の広場 4 熟語の構成	1	熟語の構成の基本的な型を知る。	1 ◎ <u>「熟語の構成」について理解する。「練習」によって理解の確認を行う。</u>		(1)イ (1)ウ◎		【知識・技能】 ◎ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
3月	九	四季の詩	2 (書 1)	- 比喩や反復などの表現の技法を理解して使う。 - 表現の効果について、根拠を明確にして考える。	1 ◎ <u>それぞれの詩のイメージを想像し、どのようなことが想像されているか話し合う。それぞれの詩の表現技法や工夫を理解する。</u> 2 四つの詩から一つ選び、自分なりの考えをまとめて伝え合う。		(1)オ	C(1)エ◎ C(2)イ B(1)エ B(2)ウ	【知識・技能】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解して使っている。(1)オ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。
		少年の日の思い出	7	行動や心情を表す言葉や語句の文脈上の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。	1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。本文を通読し、作品の構成を理解する。 2 現在の「私」と「客」の場面の「客」の心情を理解する。	ま	(1)ウ	C(1)イ C(1)オ◎ C(2)イ	【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。C(1)オ

				語り手に着目して作品を読み、交流を通して自分の考えを確かなものにする	3 「僕」と「エーミール」のチョウに対する考え方の違いを捉え、「エーミール」に対する心情の変化をノートにまとめる。 4 「僕」と「エーミール」はお互いのことをどう思っているかを捉え、盗みを犯した理由を考える。 5 ◎ 「僕」がチョウをこなごなにした理由を話し合う。 6 「視点」を変えた語り直しについて話し合う。 7 作品の言葉と表現に着目し、言葉や表現の、場面や心情との結びつきについて理解する。 *「まなびリンク」を活用しながら、作品の言葉や表現を確認する。				【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、見通しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。
	言葉の小窓3 方言と共通語 言葉（解説）3 方言と共通語	1	方言と共通語の特徴について知る。	1 ◎ <u>P263『言葉の小窓 3』を読み、内容を確認したあと、P274～277『方言と共通語』を読み、内容を整理する。</u> <u>「考えてみよう」に取り組む。</u>	教 P268	(3)ウ◎		【知識・技能】 ◎ 共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	

総時数 118 時間（うち、話すこと・聞くこと 15 時間、書くこと 30 時間）

※「月」は学習時期のおおよそのめやす。

※「配当時数」欄の（ ）内は、配当時数に占める「話すこと・聞くこと」「書くこと」の時数。

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。